

講義科目	: 地域政策論 I (53期生)	単位数	: 2
	: 地域政策論 (52・51・50期生)	学習形態	: 選択科目
担当	: 小野寺 一成	実務経験	: 有

講義の内容・方法および到達目標

地域政策とは、地域問題を把握し、その解決を図る政策のことである。地域政策は、人口の減少・超高齢化、経済等の国際化、財政の困難等多くの課題に直面しながらも、その地域をより良くしていくよう活性化していくことを目的としている。本講義では、豊かな地域を実現するために必要な社会資本などの国土政策を中心として、県内市町村などの具体例をあげながら講義し、地域の活性化を考えていく基礎知識を身につけることを目標としている。

授業計画

第1回	ガイダンス：地域政策とは、国土のグランドデザイン
2回	社会資本の歴史とその役割
3回	社会資本を取り巻く社会の状況
4回	今後の社会資本のあり方－維持管理－
5回	今後の社会資本のあり方－将来を見越した取り組み－
6回	社会資本に関する国土交通行政の方向
7回	観光立国と美しい国づくり
8回	講義前半のまとめと中間試験
9回	東日本大震災からの復興に向けた取り組み
10回	美しく良好な環境の保全と創造
11回	安全・安心社会
12回	競争力のある社会
13回	心地よい生活空間づくり
14回	地域活性化の推進
15回	全講義のまとめと確認

※なお、授業の進捗状況によって、内容を変更することもありえる。

教材・テキスト・参考文献等

- ・基本的には、Power Point を使用した講義。ppt資料などを配布。
- ・テーマによっては、DVD 教材などの視聴覚教材の利用を予定。

成績評価方法

- ・中間試験(35%)、定期試験(55%)、講義後小レポート(10%)をあわせて評価。
- ・1/3を超えて欠席した場合は評価の対象外、遅刻3回で1回の欠席とみなす。

実務経験

- ・都市計画事務所等に勤務し、総合計画、都市計画マスタープラン、住環境整備計画、地区計画、公営住宅統廃合計画などを策定したほか、住環境整備事業や公営住宅建替事業等に参画。授業では、これらの実務経験を活かした実践的な調査研究、計画・設計力の養成に努める。

その他

- ・授業の最後に、当日行った講義の重要なキーワードの回答を求める簡単な講義後小レポート(A6判)を予定。